

第6回 D-2 ドッジボール交流大会

第7回 D-3 ドッジボール交流大会

* * * 競技規則 * * *

1. 一般財団法人日本ドッジボール協会公式ルール、本大会要項、本競技規則による。
2. 選手・監督・コーチ・マネージャー並びに大会役員・運営スタッフ・審判員は、競技フロアに降りる際は、体育館シューズを履くこと。
今大会は、チーム役員（指導者など）は5名までベンチに入ることができる。
但し、その内1名以上は必ず成人であること。
(今大会は上記の者以外は、競技フロアに入れません。)
3. 審判員は、応援席への出入りを禁止する。
4. チームのメンバー構成について
◎ 大会要項参照のこと。
5. 試合の人数・メンバーについて
◎ 大会要項参照のこと。
7. 試合方法

(D-2の部)

- ① 1リーグ5チームを1グループ、4チームを2グループによる試合を行い、各リーグの全チームがトーナメントに進出する。
- ② 予選リーグから決勝トーナメントの決勝戦までの全試合を、ランニングタイム制の5分1セットマッチで行う。

(D-3の部)

- ① 1リーグ4チームを2グループ、3チームを1グループによる試合を行い、各リーグの全チームがトーナメントに進出する。
- ② 予選リーグから決勝トーナメントの決勝戦までの全試合を、ランニングタイム制の5分1セットマッチで行う。

8. 勝敗、順位について

(D-2の部・D-3の部 共通)

<予選リーグ>

- (1) 試合終了時に内野人数の多いチームを勝ちとする。
- (2) 試合終了時に内野人数が同数の場合は引き分けとする。

(3) 次の方法により各リーグ内の順位を決定する。

- ① 勝ち点制を採用し、勝ちを2点、引き分けを1点、負けを0点とし、その合計の多いチームをリーグの上位とする。
- ② 勝ち点と同じ場合は、各試合終了時の内野人数の合計が多いチームを上位とする。
- ③ それでも決定しない場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ それでも決定しない場合は、対戦相手チームの内野人数の合計の少ないチームを上位とする。
- ⑤ それでも決定しない場合は、ランニングタイム制の5分1セットマッチの試合(サドンデス有)の決定戦を行う。

<トーナメント戦>

- (1) 試合終了時に内野人数の多いチームを勝ちとする。
- (2) セット終了時に内野人数が同数の場合は、そのままの状態ジャンプボールをし、最初にアウトを取ったチームを勝ちとする。(サドンデスゲーム)

9. 試合球、コート大きさについて

<試合球>

(D-2の部)

モルテン製 3号球 D3C5000を使用する。

(D-3の部)

ミカサ製 2号球 MGD B2を使用する。

<コートの大きさ>

D-2の部、D-3の部、ともに小学生オフィシャルサイズとする。

10. ボールを使った練習について

- ① 練習は、スケジュールに記載の「チーム練習」による。
- ② その他の場所でのボールを使った練習は厳禁とする。
- ③ お互いに譲り合い、ケガの防止に努めること。

11. 表彰について

D-2の部、D-3の部、ともに1～3位を表彰する。

12. その他

本大会スケジュールの第一試合、D-2の部及びD-3の部の3位決定戦、決勝戦のみベンチ前整列とし、その他の試合は、センターライン集合・整列とする。

(注意喚起事項)

<新潟県協会の本大会特別規則>

1. 応援席や試合ベンチでは、直接音の出る用具や叩いて音を発する用具など全てを禁止する。(うちわ、メガホン等)
2. 本大会では、応援席の応援団を含めて、**チームマナーが不適切**と思われる場合は場合によっては、試合中でも試合を停止し、不戦敗とすることや以後の出場を停止する場合もある。

【チームマナーが不適切とは】

チーム代表者・チーム登録役員(監督・コーチマネージャー)や選手及びチーム登録以外のチーム内指導者や応援団及びその他のチーム関係者が

- ① 審判員や大会運営役員等に対して、または試合中の判定等について、苦情・抗議・暴言・暴力行為を行うこと。
- ② 自チーム及び他チームの選手や役員に対して、苦言や苦情・抗議・暴言を発したり、体罰・暴力行為を行うこと。
- ③ 試合時、応援席からのチームへの過度の指示など。
- ④ 試合場や会場施設及び設備等を損壊またはそれに準ずる行為を行うこと。
- ⑤ その他、大会運営を妨げる行為を行うこと。